



3月の花：スズラン

## 事務所便り

令和2年3月号

特定社会保険労務士・行政書士 重村 勝弘

重村行政労務管理事務所

ご連絡先：〒235-0021

：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102

電話・FAX：045-754-3412 携帯：070-5542-1466

E-mail：[shigemura.office@etude.ocn.ne.jp](mailto:shigemura.office@etude.ocn.ne.jp)

### ●新型コロナウイルス対策基本方針

政府は2月25日、新型コロナウイルス対策の基本方針を発表した。患者や感染者と接触する機会を減らすため、企業に対し、発熱など風邪の症状がみられる社員には休暇を取らせるよう要請。テレワークや時差出勤の推進も強く呼び掛けている。

イベントなどの開催については、「現時点では全国一律の自粛要請を行うものではない」と前置きした上で、感染の広がりや会場の状況などを踏まえ、開催の必要性を再検討するよう求めている。



国民には、手洗いやマスクの着用など対策の徹底を促す。その上で、感染が疑われる場合は「**帰国者・接触者相談センター**」に相談するよう呼び掛けた。「感染への不安から適切な相談なく医療機関を受診することは、かえって感染リスクを高める」としている。

患者数が大幅に増えた地域では、一般の医療機関でも新型コロナウイルスへの感染が疑われる患者を受け入れる方針も打ち出した。風邪の症状が軽い人は、自宅での安静・療養を原則とし、悪化した場合は相談センターなどに相談の上、受診するよう促している。

また、27日夕刻には全国の小学校から高等学校迄に対して、春休み迄の間休校するよう要請した。

### ●新型肺炎、米メディアが報じた「研究所が発生源」説

中国から全世界へと感染が広がる新型コロナウイルスの発生源は、中国湖北省武漢市にある国立の病原体研究機関かもしれない。米国メディアがそんな可能性を報じた。報道では、その研究所が中国人民解放軍の細菌兵器開発に関わっているとの疑惑も呈している。

この可能性を報じたのは、米国の戦略動向や米中の軍事動向に詳しいベテランジャーナリストのビル・ガーツ記者である。

ガーツ氏はこの記事で、「ウイルスに襲われた武漢には中国の生物戦争計画に関わる2つの実験所がある」と指摘し、武漢市で発生した新型コロナウイルスの肺炎が同市内に存在する「武漢国家生物安全実験室」から漏れたウイルスが原因である可能性がある、と記していた。

武漢国家生物安全実験室は2015年に建設が開始され、2017年に完成した毒性の強いウイルスの研究機関である。これまでエボラ出血熱やニパウイルス感染症などのウイルス研究にあたってきたという



ガーツ氏の記事によると、同実験室は中国当局が今回の新型コロナウイルスを最初に発見したとする海鮮市場から30キロほどの距離にある。

ガーツ氏は、中国の生物（細菌）兵器に詳しいイスラエル軍事情報機関の専門家、ダニー・ショハム氏への取材を基に、(1)「武漢国家生物安全実験室」は中国人民解放軍の生物戦争のための兵器開発に関与していた、(2)同実験室は今回の新型コロナウイルスの研究にも関わっていた可能性が高い、(3)同コロナウイルスが人間への接触で同実験室から外部に流出した可能性がある——などと報じていた。

またショハム氏によると、武漢市内には同じく危険性の強いウイルスの研究や実験をする「武漢生物製品研究所」という施設があり、この研究所が今回のコロナウイルスの出所となった可能性もある。同研究所は2002年から2003年にかけて中国・広東省から世界に広まったSARS（重症急性呼吸器症候群）ウイルスの研究にも従事していたという。武漢国家生物安全実験室と武漢生物製品研究所はともに「中国科学院武漢病毒研究所」の傘下にある。これらの研究室からウイルスに感染した実験用のモルモットが逃げ出した可能性もある。（中国の急速な発展に脅威を感じている国がウイルスを散布したとの説も？）

### ●日本からの支援物資に漢詩、中国が感涙

新型コロナウイルスの影響が広がる中国で、日

本から続々と届く支援をメディアが連日手厚く報じている。在日中国大使館は日本政府や地方自治体、企業などから計約272万枚のマスクや、約38万着の手袋などが寄付されたとの集計をホームページで公表。日本から届く支援物資に添えられていた「山川異域 風月同天」という漢詩の一節も話題を呼んでいる。



日本の支援についての報道やSNSの投稿が流れる際、「山川異域 風月同天」と記されることが多い。

約1300年前に天武天皇の孫の長屋王が、唐の高僧・鑑真に宛てたとされ、「住む場所は異なるろうとも、風月の営みは同じ空の下でつながっている」との意味。このメッセージに心を動かされた鑑真が来日を決めたと伝えられている。

同協会の本田恵三事務局長（58）は「今の私たちの気持ちを伝えるのに、ふさわしい言葉だと思った」と話す。中国のSNS上にはこの漢詩を解説する動画などが投稿され、「（鑑真を動かした漢詩が）再び中国の人の心を動かした」「1300年の時を隔てて私も泣きました」などの声が上がっているほか、中国人が武漢市で患者に対応する医師らに送るエールとしても使われている。

## ●新型コロナウイルス対応チェックしてみよう

～一般市民向け・クイック・チェックポイント～

### 【1】注意したいこと

- ・自分で体調管理を行い、体調がすぐれないときは朝夕の体温測定をする
- ・病院や施設での面会を控える
- ・人が多く集まる室内での集会への参加は必要なものだけに限る
- ・公共交通機関でつり革や手すりに触れた後は、鼻、口、目を触らない
- ・会社、学校、自宅に着いたら手洗いをする
- ・時差通勤でラッシュアワーを避ける
- ・[テレワーク](#)を活用する
- ・37.5度以上の発熱、咳、倦怠感がある場合は、出来るだけ会社、学校を休む
- ・37.5度以上の発熱、咳、倦怠感がある場合に、人と接触する場合はマスクを着用し、手で鼻や口を触ったら手洗いをする
- ・体調不良の人と接する場合はマスクを着用する

### 【2】注意したい症状

- ・37.5度以上の発熱、咳、倦怠感などに加え、呼吸苦や息切れがある場合
- ・37.5度以上の発熱、咳、倦怠感などの症状が5日以上持続する場合

### 【3】病院にかかるには

- ・帰国者・接触者相談センターなどに相談してから病院（一般外来でなく、帰国者接触者外来）を受診する

### 【4】高齢者や基礎疾患のある人は

- ・毎朝夕、体温測定をする
- ・多くの人が集まる集会場などに行くことを控える
- ・インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンを接種していない人は医療機関で接種する

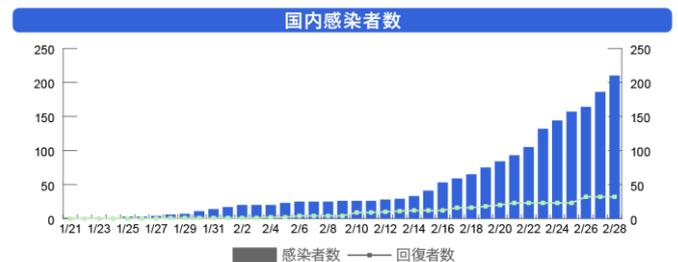
※日本感染症学会、日本環境感染学会が発表した2月21日資料「水際対策から感染蔓延期に向けて」から抜粋・要約

## 新型コロナウイルスの国内外の発生の状況

【出典】国内：2月29日18時時点 厚生労働省発表・Johns Hopkins CSSE、更新日時：2月29日18時00分  
国外：2月28日時点 WHO発表・Johns Hopkins CSSE、クルーズ船：2月28日時点 厚生労働省発表

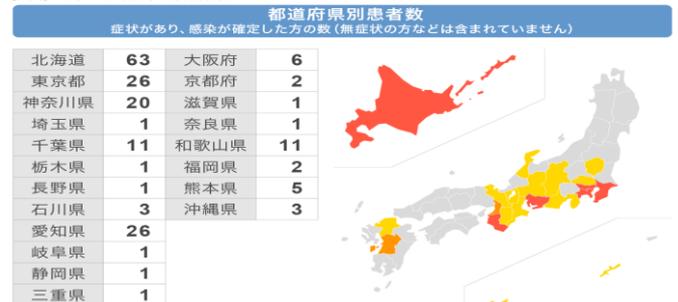


その他、横浜港に到着したクルーズ船：感染者数 705 死者数 6



※2月13日以降の国外感染者は計算方法が変わっています（中国における、症状のみで判断した感染者数を含む）

【出典】2月28日時点 厚生労働省発表



海外在住ほか 11  
 ※居住地別、国内発生事例（クルーズ船・帰国チャーター便事例などは含まれていません）